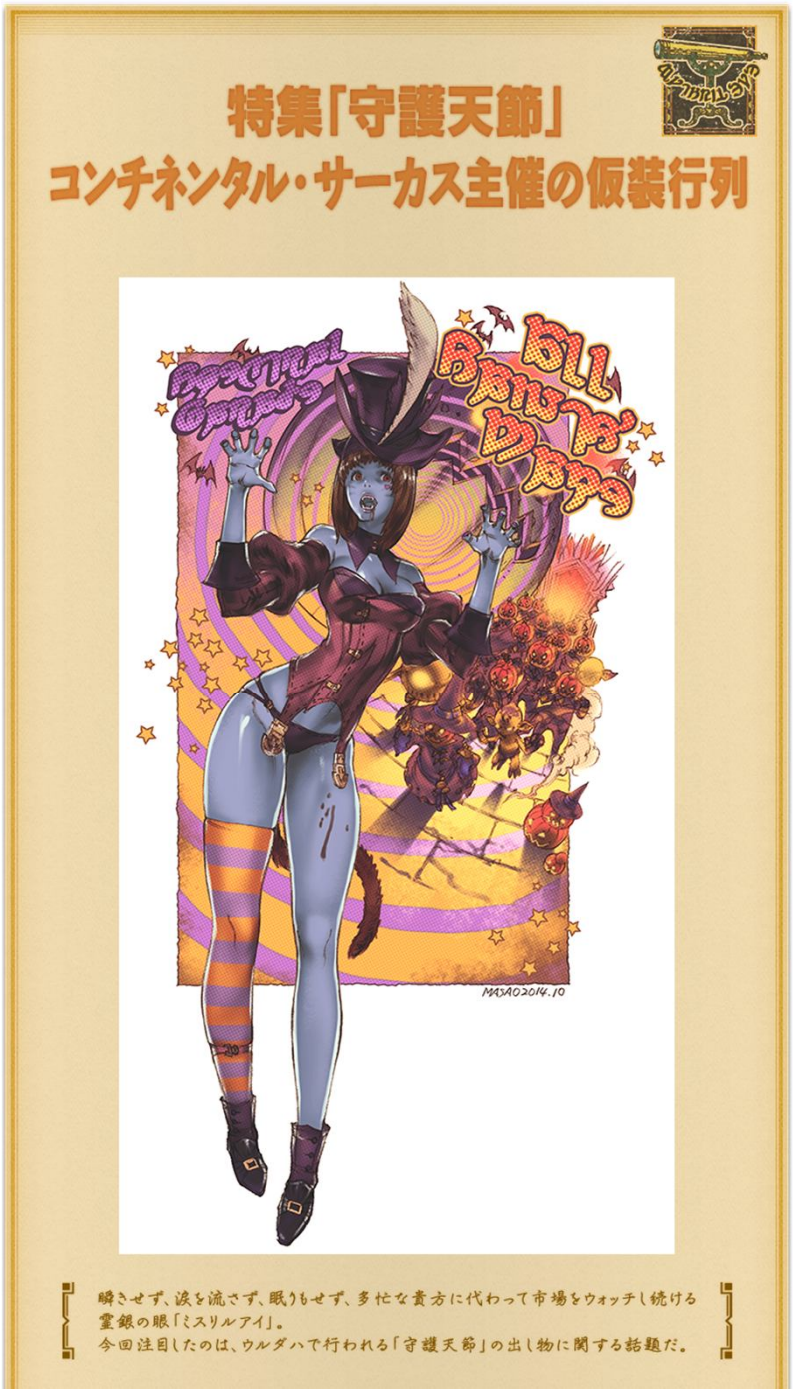
テキスト抜け、SSのトリミングや貼付位置の甘さがありますがご容赦願います。

FF14　備忘ログ　期間限定クエスト



2014年10月20日　～　11月3日

©2010－2014 SQUARE ENIX CO.,LTD.All Rights Reserved. FINAL FANTASY XIV

旅芸人一座の新たな演目
徳の高い行いと清き心によって、十二神の聖人に列せられた守護天たち。
その善行を記念した「守護天節」の季節がやってきた。

「守護天節」には、「日暮れ前に家に帰り、魔物が入り込まぬよう固く門扉を閉じる」という習慣があった。
それは、この季節、聖人たちが十二神によって天上の宮殿に招かれ、夜ごと宴に興じるという伝承によるもの。
聖人が居なくなった地上では、「守護天節」の夜に聖人の加護が弱まり、魔物たちが跋扈すると信じられていたのだ。

だが、そんな言い習わしも過去の話。
冒険者の活躍によって魔物の脅威は遠ざけられ、夜であろうと都市の平和が揺らぐことはない。
かつて恐怖の代名詞であった「守護天節」の夜は、宴に興じる聖人よろしく、大いに騒ぎ楽しむ祭りへと様変わりした。

そんな祭りを盛り上げるのが、「コンチネンタル・サーカス」なる旅芸人の一座だ。
大陸を横断して各地で公演を続けているという彼らは、魔物に扮することで「守護天節」の習慣を現代に伝えるとともに、人々を楽しませている。

その「コンチネンタル・サーカス」は、今回の「守護天節」に出し物として、ウルダハのナル回廊で「仮装行列」の開催を予定している。
取材によれば、参加者は一座のものたちと同じように魔物に扮し、「守護天節」の夜に現れるという伝説のカボチャお化け「パンプキンヘッドの魔人」に扮した一座の女性に率いられ、エメラルドアベニューを練り歩くのだという。

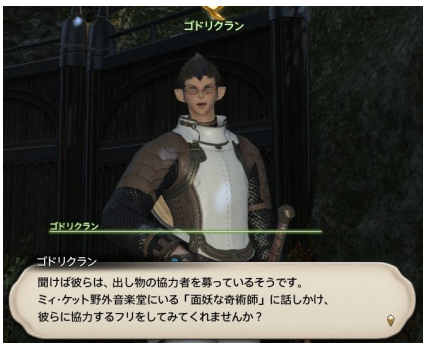
エメラルドアベニューを大々的に用いる話題性に加え、多くの冒険者にも参加協力を仰ぐ予定で、主催側は相当数の来場者を見込んでいる。
この「仮装行列」に経済効果があるのは間違いなく、祭りの出し物として興業関係者のみならず、経済面からも注目する価値があるのではないだろうか。

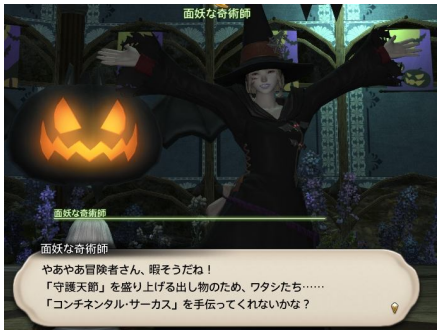
「コンチネンタル・サーカス」による「仮装行列」は、「守護天節」の期間中、定期的に行われるとのことなので、家族そろって見物に出かけるのもよいだろう。
なお、年頃の娘を持つ筆者としては、親子関係を円滑にするためにも参加するつもりである。

論説委員：ハバク・アルバク

ヘンシンと森都の守護天節

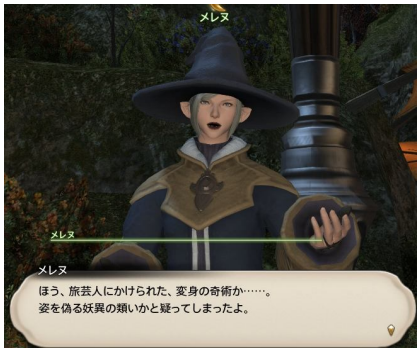
ゴドリクラン ： その姿……よかった、君も冒険者ですね？　突然ですみませんが、僕の仕事を手伝ってくれませんか？
君は「コンチネンタル・サーカス」って知っていますか？　「守護天節」を盛り上げるためと称し、エオルゼアの三都市で、出し物をしている旅芸人の一座なのですが……。
……大きな声じゃ言えませんが、実は、彼らは人ではありません。スキンチェンジャーという能力で姿を変えた、インプを始めとする魔物の集団なのです。
この「守護天節」を盛り上げるだけならいいですが、相手は魔物……悪さをしないとはかぎりません。
そこで冒険者ギルドから、一座を監視する任務を請け負いました。
ですが、どうも警戒されてしまったようで、これ以上、彼らに近づくことができません。
……そこで、君に潜入捜査を手伝ってほしいのです。
聞けば彼らは、出し物の協力者を募っているそうです。ミィ・ケット野外音楽堂にいる「面妖な奇術師」に話しかけ、彼らに協力するフリをしてみてくれませんか？





面妖な奇術師 ： やあやあ冒険者さん、暇そうだね！　「守護天節」を盛り上げる出し物のため、ワタシたち……
「コンチネンタル・サーカス」を手伝ってくれないかな？
昔のヒトにとって「守護天節」は、街で魔物が大暴れする、恐怖の時期だったらしいね……。
でも、大丈夫！　ワタシたち「コンチネンタル・サーカス」は、ミンナを楽しませるためにやってきたのだから！
今回の「守護天節」は、ズバリ仮装のお祭り！　「変身の奇術」で、キミを恐ろしい姿に変えてあげるから、
その姿で、ヒトビトを驚かせてほしいのさ！
それじゃあ、変身の奇術をかけちゃうよ！　変身したら「グリダニア：旧市街」のヒトを驚かせてね！　さぁ変身だ、ホーレホレ！

メレヌ ： これはカヌ・エ様……。いや、お前はカヌ・エ様ではないな？　幻術で姿を変えている……ようには見えないが……。
ほう、旅芸人にかけられた、変身の奇術か……。姿を偽る妖異の類いかと疑ってしまったよ。
妖異の中には、スキンチェンジャーという変身能力を持つ、やっかいな者も存在するからね。
それに匹敵する変身の奇術……実に見事だ。



パルセモントレ ： ふぉっ、カヌ・エ様！？　いらっしゃるとは伺っておらず……いや。もしや、幻術の類で姿を偽っておるのじゃな？
奇術で変身した姿じゃと？　ほほう、若いころに見たシルフ族の幻術を思い出すわい！
それにしても……ううむ……　本当に見事な変身ぶりじゃのう！　なかなかいいものを見せてもらった、礼を言うぞ。

セイングレド ： カ、カ、カヌ・エ・センナ様！？　どど、どうしてこちらに……何か御用でしょうか？
……奇術を使った変身、だと？　そういえば旅芸人の一座が来ていると聞いたな……。まったく、悪戯もほどほどにしろ！
……いや、悪いのは変身を見抜けぬ私の眼の未熟さか。恩にきるぞ、自分の至らぬ点に気がつけた。
技だけではなく、眼も鍛えなくてはな。

面妖な奇術師 ： お疲れさま、冒険者さん！　ひと仕事終わったことだし、まずは奇術を解いてあげよう！
やあやあ、街のミンナの、驚いた後の反応はどうだった！？　ウフフ……きっと恐怖にむせび泣いて……。
え、ミンナ喜んでいたって……？　なんで？　なんで恐怖しないの……？
まいったなぁ……これじゃ、恐怖の力が集まらないよ。恐怖の力が魔物を呼び寄せ、「魔人の夜」が再現するって、
「カボチャ頭の女」は言ってたのに……。
ありゃ、声に出てた！？　今のはそのぅ……そう、お祭りを盛り上げる物語さ！
物語にそって演出するなんて、なかなか二クイでしょう！？
と、ともかく、キミのおかげで、お祭りは盛り上がったよ！　それじゃ、次は「リムサ・ロミンサ」での協力をお願いするよ！
今度こそ「魔人の夜」の再現をして、恐怖の……　じゃなくて、楽しい「守護天節」を盛り上げてきてね！

カボチャ頭の女？ ： クス……クスクス……楽しい楽しい「守護天節」……。心ゆくまで遊びましょう……。

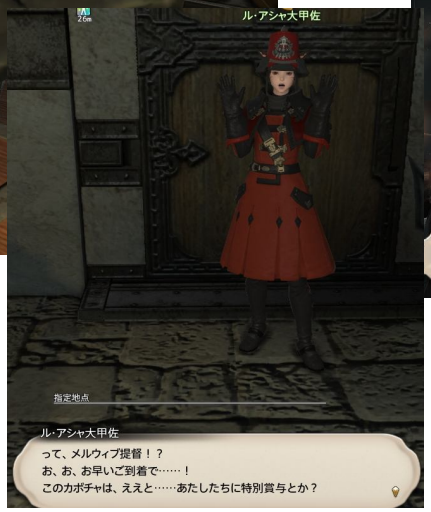
ゴドリクラン ： おかえりなさい！　潜入捜査で、有意義な情報は得られましたか？
なんと、「魔人の夜」の再現ですって……？　……想像以上に刺激的な言葉がでてきたものですね。
魔人の夜とは、「パンプキンヘッドの魔人」に率いられた魔物が、縦横無尽に都市を暴れまわるという、
混沌と破壊に満ちた、恐怖の夜のことだといわれています。
彼らの真の目的は、それを引き起こすこと？　しかし実際には、彼らは祭りを盛り上げただけ……。
言動がちぐはぐですが、これは次への布石なのでしょうか……。
ふむ、次は「リムサ・ロミンサ」での協力を頼まれた、と。それなら僕たちも、当地に赴いて捜査を続行しましょう。
先に「アフトカースル」付近に行って、待っていますよ！

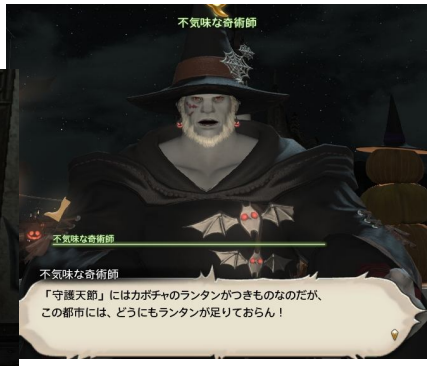
ゴドリクラン ： よく来てくれましたね、それでは捜査を続行しましょう。準備がよければ声をかけてください！

カボチャと海都の守護天節

ゴドリクラン ： 準備はよろしいですか？　それでは、捜査を再開しましょう。
どうやら「コンチネンタル・サーカス」は、この都市でも、悪しき陰謀を企てているようです。
「不気味な奇術師」が協力者を探していましたからね。
「不気味な奇術師」は、この辺りにいるはずです。前回と同じく彼らに協力したフリをして、企みを暴きましょう。
……まったく、大事がなければよいのですが。

不気味な奇術師 ： ほう、お主はグリダニアで仲間に協力してくれた冒険者か？　一座の仲間から話は聞いておるぞ。
ぜひ、ワシにも手を貸してほしい。
「守護天節」にはカボチャのランタンがつきものなのだが、この都市には、どうにもランタンが足りておらん！
これでは「守護天節」の盛り上がりも欠けようというもの！　ゆえに、今から渡す「守護天節のランタン」を、
都市内に置いてきてはくれんか？
そうだな……置く場所は「溺れた海豚亭」、「コーラルタワー」、「黒渦団：軍令部」の3ヶ所でいいだろう。
必ずこの順番で「守護天節のランタン」を置くのだぞ！
……なに、なぜ順番が決められているのかって？　それは魔法陣を……ごにょごにょ……ゴホン！
と、ともかく、伝えた順に置いてくれればいい。
では、今からお主に、変身の奇術をかける。「恐ろしい姿」をしていれば、
都市民どもが、あえて邪魔をしてくることもないだろうからな！





バデロン ： ……！？　ちょっと、お前さん何を置いて……
って、メルウィブ提督！？　もうお越しで！？　それにしても、なぜ提督が店にランタンを……？
……ははぁ、さては変身の奇術を使ってるのか。酔ってもいねえのに、悪い夢でも見たのかと思ったぜ。
とりあえず、お前さんの事情は了解した。
せっかくの「守護天節」だ、ランタンを置くのは構わねえが……　さすがにコイツは大きすぎじゃねえか？
近々、メルウィブ提督も来るってのにどうするかねえ……。
おっと、とりあえずご苦労さん。邪魔にならない方法は、こっちで考えておくぜ。

レイナー ： ……！？　君、勝手に何を……
メ、メルウィブ提督！？　こ、これは失礼いたしましたッ！　いや、しかし……雰囲気がいつもと違うような……。
……ふむ、なるほど。変身の奇術を使っていたのか。「守護天節」の余興というわけだな。
私個人としては、この飾り付けに異論はないが……　警備の都合で、撤去することになるかもしれない。
間もなくメルウィブ提督が視察に来られるということで、我々も常時より慎重になっているのだ。
……撤去するか、悩むところだな。

ル・アシャ大甲佐 ： ちょっとちょっと！　ここは黒渦団の軍令部だよ？　勝手なことしちゃ……
って、メルウィブ提督！？　お、お、お早いご到着で……！　このカボチャは、ええと……あたしたちに特別賞与とか？
……なんだ、変身した冒険者だったのか。びっくりさせてくれるなぁ、もうっ！
それで、カボチャのランタンを置いておいてほしいって？　あたしはぜんぜん構わないけど……。
うーん、軍令部の雰囲気に合ってないなぁ。不審物と間違われて、撤去されちゃうかも。
……そのときはごめんね？

不気味な奇術師 ： 帰ったか、冒険者よ！　それでは変身を解いてやろう。
ランタンは、指示どおりに置いてきたのだな？　ククッ……うむ、実に素晴らしい……！
愚かなヒトでは、到底気付けなかっただろう！　お主がカボチャのランタンを置いたことにより、
「カボチャ頭の女」が教えてくれた魔法陣が完成した！
しばらくすれば魔法陣が「扉」を開き、大量の魔物たちを、こちら側に招き入れることだろう！
そして、我らが目的……「魔人の夜」が再現されるのだ！

イエロージャケット警備兵 ： ……まったく、お祭り騒ぎには困ったもんだ！　「守護天節」に乗じて、邪魔になるような場所にまで、
馬鹿でかいランタンを置く奴がいてさ……。

イエロージャケット警備兵 ： ああ、すっごい邪魔な「守護天節のランタン」があったわね。溺れた海豚亭と、コーラルタワーと、黒渦団の軍令部だっけ。
……あれ、撤去したのかしら？

イエロージャケット警備兵 ： もちろん、すっぱり撤去してやったさ！　あんな場所に置かれてちゃ、嫌がらせもいいとこだからな。
提督の視察もあるし、放置しちゃおけないだろう。

イエロージャケット警備兵 ： あはは、当たり前よね～。

不気味な奇術師 ： ……ゴホン、か、勘違いしないでほしいのだが、ワシが先ほど述べたのは、お主を楽しませるための物語だ。
ど、どうだ？　ハラハラしちゃっただろう？
しかし、物語を優先して時期と場所を決めたばかりに、飾りつけを撤去されてしまうとは！
アハハ、ハハ……この教訓は、次に生かすとしよう……。
う、運悪く失敗したが、お主の働きは十分だった。もうこの地にお主の力を活かせる場はない。
次は「ウルダハ」へ向かってくれ！

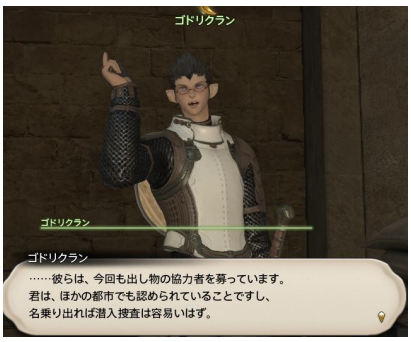
カボチャ頭の女？ ： クス……クスクス……本当に面白い子たち……。さあ、もっと「守護天節」を楽しみましょう……。

ゴドリクラン ： やあ君、お疲れさま！　潜入捜査の結果はどうでしたか？
……魔法陣を使って魔物を集め、「魔人の夜」の再現を！？　なるほど、妨害する必要もなく、失敗したんですね。
いったい、何をしたいのやら……。
次は「ウルダハ」に向かうよう言われたのですね。失敗が続いてますから、彼らも本気を出してくるかも……！
「ウルダハ」へ行って、潜入捜査を続行しましょう。先に「ルビーロード国際市場」付近に行って、待っています！

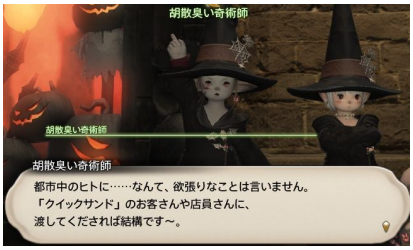
ゴドリクラン ： 待っていましたよ！　さぁ、一息ついたら、捜査を続行しましょう。

パレードと砂都の守護天節

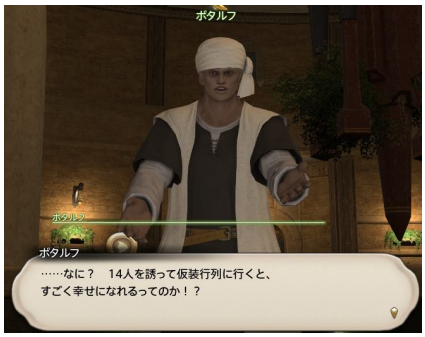
ゴドリクラン ： それでは、ウルダハでの捜査を始めましょう。何やら「コンチネンタル・サーカス」は、
仮装行列を催して「守護天節」を盛り上げている様子……。
エメラルドアベニューを仮装をしながら練り歩き、見物客に幸運の「おまじない」をかけているようです。
一見すると楽しい仮装行列ですが、これも「魔人の夜」を再現するための企みに違いありません。
大惨事になる前に、僕たちの手で阻止しないと！
……彼らは、今回も出し物の協力者を募っています。君は、ほかの都市でも認められていることですし、
名乗り出れば潜入捜査は容易いはず。
さっそく、エメラルドアベニューにいる、「胡散臭い奇術師」に話しかけ、協力したフリをしましょう！
よろしくお願いします！
……僕は僕で、捜査を進めてみます。冒険者が集まるクイックサンド前あたりにいますので、
君の捜査が終わったら、そちらに来てください！

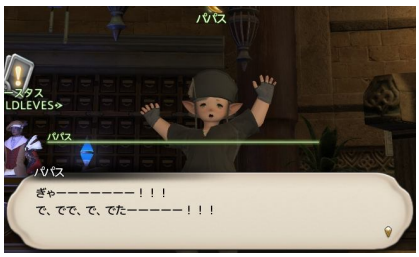


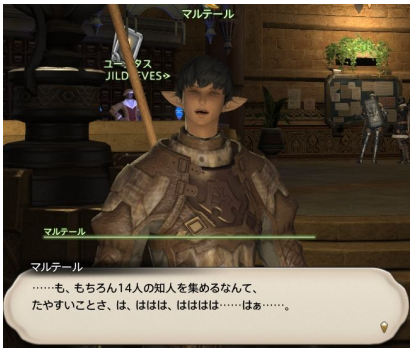
胡散臭い奇術師 ： アイヤー、いらっしゃ～い。姐さんも、わてらの仮装行列に協力してくださりますか～？　おおきに、たすかります～！！
さっそく姐さんには変身してもらいまして、わてらが催してる、仮装行列のビラを配ってもらいます～！
都市中のヒトに……なんて、欲張りなことは言いません。「クイックサンド」のお客さんや店員さんに、
渡してくだされば結構です～。
そんときに、こう言ってほしいのですわ～。
「このビラを受け取ったら、4時間以内に14人を誘って、　仮装行列を見物すると、凄く幸せになる！」ってね～！
アイヤー、簡単にヒトを笑顔にできますでしょ～？　では、「変身の奇術」をかけさせていただきます～。
キエーーー！



ボタルフ ： うわわわっ！！　だ、だ、だれか、助けてくれー！
なんだよ、これ、変身の奇術なのか！？　確かに、ここはウルダハだったな……。
ダマしダマされ、油断できないっていうのに……くそっ。
……なに？　14人を誘って仮装行列に行くと、すごく幸せになれるってのか！？
ここはウルダハ……ちょっと信じられないが……　本当なら、この貧乏暮らしを抜けられるかもしれない！
……いい話をありがとう、必ず、仲間と見に行くよ！！







ババス ： ぎゃーーーーーーー！！！　で、でで、で、でたーーーーー！！！
えっ、これ、変身の奇術なのっ！？　……もう、おばちゃんをおどかさないでよ！　心臓が止まると思ったわぁ～。
それで、このビラは何かしら？　……あら、幸運になる「おまじない」ですって、素敵ねぇ！
14人必要なら、一家総出で行ってみるわぁ～！

マルテール ： どうぁぁぁ！？　こ、こんな場所にも敵がっ！？　み、み、みんなも手を貸してくれ！
は、はは……変身の奇術ってことはわかってたよ？　あえて、調子を合わせてあげただけさ……。
黒衣森出身だからって、みんなカタブツってわけじゃない。
このビラに書かれてる仮装行列にも、もちろん参加させてもらおうじゃないか！
……えっ？　何だって？　14人で参加？
……も、もちろん14人の知人を集めるなんて、たやすいことさ、は、ははは、ははははは……はぁ……。

胡散臭い奇術師 ： アイヤー、ビラ配りご苦労さんでした～。……姐さんが変身したままじゃ、調子狂いますんで、
いったん奇術を解かせていただきます～、キエーーー！
では、姐さん……続きましては、わてら「コンチネンタル・サーカス」の催しの花……
仮装行列を手伝ってもらいます～！
な～んも難しいことはありません。仮装して、エメラルドアベニューを練り歩きながら、
見物客に幸運の「おまじない」をかければいいんです～。
ただし、見物客にまぎれた呪術士ギルドの連中には要注意！　やっこさんたち、善良なわてらをなぜか疑っとりましてね、
「おまじない」を嫌がるんですわ～。
もしも、呪術士に「おまじない」をかけたら……さあ大変！　お返しに、変身を解く魔法をかけてきやがるんです～。
妖異とかに詳しい奴らは、これだから嫌んなりますわ……。
なんで、呪術士には幸運の「おまじない」をかけないよう、くれぐれも注意してください～。
それでは、仮装行列が始まったら、きばって盛り上げてきてください～！
姐さんのがんばったっていう報告を、待っとります～！

妖しい奇術師 ： ぼくは、「変身の奇術」を使う奇術師……。奇術のことは、「旅芸人一座の広報係」から聞いて……。
……きみも「変身」する？

パンプキンヘッドの魔人 ： さぁ、パレードの始まりよ……変身はできているかしら？

変身したいなら「妖しい奇術師」に頼むといいわ……。
「ウルダハの市民」に幸運の「おまじない」をかけるの……　でも、「ギルドの呪術士」には注意して……クスクス……。
クスクス……準備はいいかしら？　それでは、始めましょう……。
名残惜しいけど、パレードはこれでおしまい……。

胡散臭い奇術師 ： アイヤー、仮装行列は成功しましたか～！　たくさんがんばってもらって、ありがとうございます～！！
……どうも調子狂うんで、奇術を解きます～、キエーーー！
おかげさまで、わてらの計画も大成功です～！　さすが、「コンチネンタル・サーカス」の代表、
「ダンチョー」の計画です～、悪どいわ～。
……えっ、け、計画とは何かですか？　そんなの、仮装行列で「守護天節」を盛り上げる計画に、
決まってるじゃないですか～、ははは！
わ、わては、ぼちぼちダンチョーへの報告の支度をします～。待ち合わせ場所まで行くんで、何かと大変なんですわ～。
姐さんは、仮装行列をもっともっと盛り上げてください～。
……え、ダンチョーとの待ち合わせ場所ですか？　「ゴールドコート」ですが……あっ！
こっ、これは、ダンチョーとわてとの秘密なんです！　姐さんは、絶対来ちゃダメですよ？
でないと、わてがカボチャクッキーにされちゃいます～！

ダンチョー ： ここで、私たちが会っていることは……　もちろん、誰にも言ってないでしょうね？

胡散臭い奇術師 ： えっ……ええ、もちろんです～！　そ、そんなことより、この姿はキュークツですわ～。
報告の前に、変身を解いてもいいですか～？

ダンチョー ： ……もっともな提案ですね。2本の脚を地につけて、体を支えるのはとても疲れる……。
変身を解くとしましょう、エイヤーーーー！

胡散臭い奇術師 ： アイヤー、生き返っりましたワ～！　やっぱり、元の姿がイチバンですナ！

ダンチョー ： 油断は禁物、今だけ特別ですヨ？　それで……計画どおり、冒険者を仮装行列に誘い込んでいますか？

胡散臭い奇術師 ： アイヤー、もちろんです～！　さっきも、よく働く冒険者をダマして参加させまして、
仮装行列を成功させたところなんですワ～！

ダンチョー ： ヒャヒャ、今回こそ「魔人の夜」が成功しそうですネ。これまでの過ちは、すべて帳消しですヨ……。

胡散臭い奇術師 ： アイヤー、まさか魔物を呼び出すのではなく、ヒトを魔物に変容させればいいだなんテ……　なんたる逆転の発想！

ダンチョー ： 「変身の奇術」や、一連の計画……　すべては「カボチャ頭の女」が示してくれたモノ。
その上、仮装行列の先導役までやってくれて……。素性は知りませんが、なんて素晴らしい方でしょう！
まるで、本物の「パンプキンヘッドの魔人」のようですネ！

胡散臭い奇術師 ： そろそろ「おまじない」をかけられた見物客たちの身体が、魔物に変容する頃合いです～。
ヒトどもが、恐怖にむせびなく姿を見に行きましょう～！

ゴドリクラン ： ……おお、戻られましたかっ！？　それで「コンチネンタル・サーカス」の様子はいかがでしたか？
なっ、仮装行列を装って、人を魔物にしているですって！？　ああ……なんということでしょう。
僕は、彼らを甘く見すぎていたようです……。
マヌケな連中と侮っていましたが、やはり魔物！　人の身体を変容させる「おまじない」を使うとは……
即刻、仮装行列の中止を呼びかけなければ！

モモディ ： あらあら、眉間にずいぶん深いシワがよってるわよ。恋愛相談なら……わたしが聞いてあげましょうか？

ゴドリクラン ： モモディさん！　どうして、こんなところに！？

モモディ ： うふふ、噂の仮装行列の見物して、帰ってきたところなの。たくさんのお友達と一緒に、幸運の「おまじない」を、
いっぱいかけてもらって、とっても楽しかったわ！

ゴドリクラン ： どわあああああっ！　モ、モ、モ、モモディさんまで、魔物に！？　あの「おまじない」は、実は……。

モモディ ： なぁに？　人を魔物にする「おまじない」ですって？　うふふ……そんなの心配する必要はないわよ。
だって、ほら……。わたしは魔物になんか、なっていないでしょ？
あれはね、エオルゼアに古くから伝わる、正真正銘の幸運の「おまじない」なのよ。
さすがに、14人集めろっていうのは、ただの迷信だけどね。
みんな幸せな笑顔で帰路についたのが、幸運の「おまじない」の何よりの証拠……。
わたしも、今回は特に楽しくて、とっても幸せなの！
「守護天節」の期間は、街で魔物が暴れるとされているけど、今回ばかりは、きっと魔物も楽しんだと思うわ！
だから、あなたたちにお礼を言わせてちょうだい。
「守護天節」を盛り上げてくれてありがとう。……それじゃあね。

ゴドリクラン ： よかった、人を魔物にさせるっていうのは、「コンチネンタル・サーカス」の早とちりだったようですね。
……も、もちろん、僕だってそうだと思っていましたよ？

？？？？ ： クス……クスクス……。パンプキンヘッドは、楽しい夜が一番好き……。
ヒトも魔物も楽しい夜……ヒトも魔物もみんな幸せ……。

ゴドリクラン ： おやっ、今、何か言いましたか！？　……って、誰もいませんね。気のせい……だったのでしょうか。

ダンチョー ： ムムム……。見物客は、まだ魔物にならないんですかねぇ……？　そろそろ「おまじない」が効く頃合いなのに……。

胡散臭い奇術師 ： 確かに、おっかしいですね～？　まあ、ちょっと時間がかかってるだけでしょう。
きっともうすぐ、都市は魔物だらけになりますわ～！

ダンチョー ： はぁ……都市に魔物があふれるさま……　想像するだけで、ワクワクしますねぇ～！

いかがわしい売り子 ： ウフフ……「デモンクッキー」を手に入れたら、わたしのところまで持ってきて。
「守護天節」にちなんだ、素敵な品物と交換してア・ゲ・ル！